

ごほうびに一歩応援してください皆様へ

暑い夏が終わったとたん、石巻は長袖が手放せない寒い日が
続いています。子どもたちもたき火を楽(たの)しい季節となりました
皆様にはいかがお過ごしですか。

先日久しぶりに丸パークわたあめはど昼食をとろうと思い、冷凍
チャーハンをもとて行くと子どもが火傷とわたあめがイモどポテトフライ
をついでいました。とねがまた、カリッと揚がったおいしいわたあめと
とねが、冷凍チャーハンもフライパンで火炒めしてくれていたお礼でせう(笑)
チャーハンを食べたいと言うので、ポテトフライお礼と一緒に食べる
ことにしたのであるが、食べるルールは箸で食べる!にし
みんなが、あーだこーだたねもな、話をしながら箸で食べたことは
たまらなく楽しかった。やっぱり丸パークは面白い!!とね
ねは日々こんな感じでお過ごしですが、皆せんもなまど調理した
食材をもと遊びにいらしてください。

会報誌でも子どもたちのエピソードを紹介
していきますが、楽しくお読みいただけたら幸
いです

代表理事 田中雅子



だんごむし



こども
の
感ばに-

~いつも仲間と一緒にいて、驚くとココロ丸くな、こ可愛。だんご虫は、子ども達の大切なお友達~

経験の上書きが理由を過去にする

10月上旬、2022年度の不登校数が文部科学省から発表されました。

小中学生で29万9,048人。前年度から5万4,108人(22.1%)増加し、過去最多です。この数字をみた時「あーん」と思わず声に出してしまいました。

こどばにが活動する宮城県では、小中学生 6,188人(前年より 970人増加)、高校生を合わせると7,740人。不登校率は全国平均を上回り上位6番目でした。そしてまだ発表はされていませんが、例年石巻市はこの平均を上回っています。

宮城県は、石巻市はどうして多いのか…明確な理由は私にもわかりません。

でも、学校に行かない・行けない理由は100人いたら100通りと驚くほど違います。

こどばにの子どもたちが教えてくれる『不登校』の理由は様々で

「友達からのいじめ」「先生の対応」「勉強がわからない」「学校には自由がまったくない」

そして印象的なのは「理由なんてわからない。わかっていたら苦労しないよ」

これは何人もの子が教えてくれた言葉です。

でも、この子たちは今、高校という自分の道を歩んでいます。大学に進学した子もいます。

「わからない」と心が迷走していた子がどうして前に進むことができたのでしょうか。

私は前に進むための答えを提示したこともないし、しても効果はほとんどないと思っています。

わかっていることは、子ども自身の心が整理され自分で答えをみつけたから。

先日、ポケモンGOをしに街中に出かけた子どもとスタッフが連れて帰ったのは、ポケモンでなく生後1ヶ月ほどの子猫でした(笑)

子どもたちは、全身アンモニア臭のする子猫の身体を優しく洗い、食事やトイレの準備をネットで調べ、寝床を段ボールでつくり…子猫のためにワシャワシャと動いていました。

今回この子たちは、親とはぐれ一人ぼっちで鳴いていた命を助けた。そして子猫がご飯を食べた時、他児と顔を見合わせて喜びました。それは、これまでに経験したことがない『なにか』で、心が動いた瞬間だったようにみえます。



この『なにか』は、子どもによって大きさも深さも違いますが、私は、心が整理されるための『経験の上書き』だと思います。

子ども自身が『心の迷走』に経験の上書きを繰り返すと、いつか理由が過去のことになり、前に進み始める…これまでの子を見て感じています

まあ100人いたらすべてが100通りなので、全員にあてはまる『答え』ではないですけどね(笑)

代表理事 田中雅子

☆認定 NPO 法人こども∞感ばに- (愛称:こどばに-)とは…

2011年の東日本大震災後、宮城県石巻市の地域の大人とともに子どものあそび場づくりをきっかけに活動が始まりました。私たちは“子どもの笑顔が地域のなかで育まれるまちに”を理念に、地域のみならず一緒にプレーパークやフリースクール事業などを行っている団体です。

二代目
空飛ぶくじら号



の目標

クラファン 達成!!

購入に向けた

クラファン

『だん子むし Vol.39』でもお伝えしていましたが、こどばにーの活動車である“空飛ぶくじら号”が6月で廃車となり、2代目購入に向けたクラウドファンディングに7月から8月末までの50日間挑戦していました。

136名というたくさんの方々からご支援いただき、支援金の合計は『2,603,000円』となり、また、クラファンのサイトを通さずに直接ご支援いただいた方もいらっしゃったため、総計『3,619,000円』のご支援をいただきました。

当初は目標金額を200万円に設定していましたが、それをはるかに上回るご支援に感謝の言葉しかありません。ご支援・ご協力本当に本当にありがとうございます。

今回のクラウドファンディングは、主にぼはっくで使用する車ということもあり、フリースクールに通う子どもたちも一緒に取り組みました。

お願いの動画をつくることになり、何を伝えたいか作戦会議を行いました。「くじら号があった時ってどんな体験できてたかな?」「くじら号がなくなってからこんなことに困ったよね」と、普段の子ども会議よりも真剣。

撮影の際には、台詞を噛んだり時間内に収まらなかったりと何度か撮り直しましたが、話し方には迷いがなく堂々と喋ることができました。立派にしゃべる子どもたちを見て目頭が少し熱くな



ったのは内緒(笑)

たくさんの方々に支えていただき達成したクラウドファンディング。金額の達成だけではなく、子どもたちの成長が見られたことがとても嬉しいです。

これからも空飛ぶくじら号に乗っているいろんな経験を重ねていこーねー! (ロッキー)



ご支援者様からの応援コメント紹介

クラファンのサイトに寄せられた応援コメントを一部ご紹介します!

私の息子も不登校です。頑張って応援されている事を知り応援したいと思いました! 不登校という言葉、本当なくしたいですね。

地域で応援の循環が生まれる未来を願って寄付します。何か子どもたちの財産になる体験に繋がりますように、応援しています。

子どもたちが、安全に楽しい時間を過ごせますように!

みなさん応援ありがとうございました!

フリースクール ぼはっく

毎週火・木・金曜日

10:00~16:00

当会事務所1階で開催

体験無料

減免制度あり

フリースクールの活動の様子は
こちらから



川開き祭りで“子ども商人”

石巻市で開催されている“川開き祭り”。合宿のアクティビティや自分たちが使う物を購入することを目的に、露店を出店しました！今回は子どもたちが川開き祭りへ挑戦した様子をお届けします～

準備編

“フリースクールぼはっく”の看板も
みんなで作成↓↓↓



最初に決めたのは、『何を売るか』と『売上目標』。

子ども一人ひとりが、“自分が売りたいもの”、“これだったら売れるだろう！”というものを提案。販売するためにいくら費用がかかるか、どれくらいの利益が生まれるかなどを自分たちで計算して販売するものを選びました！今回はソーセージとペットボトルの飲み物に決定！

当日編

強い日差しが射す中、川開き祭りが開催されました！

普段、人前に出るのがあまり得意でない子も、この日は「いらっしゃ～い！」と元気よく呼び込み～

最終売り上げは約17万円と、売上目標の35万円に届きませんでした…しかし、計画を立てて実行するという体験は超大切！

子どもからも「経験はプライスレスだもんね！」という感想が！なんて大人な発言だ…。



後日編

「みんなで頑張って稼いだお金を何に使おうか？」「ソーセージ余ってるけどどうする？」

祭りを終えても考えることはたくさん！

その会議では、「アフリカの子どもたちに募金したい！」という優しい意見も提案されました～

全ての使い道はまだ決まっていますが、これからも話し合いを重ねて、みんなで決めていきます！

子どもが話していた通り、今回の経験はとても貴重なものでした。これからもこういう経験をどんどんしていこうねー！

(ロッキー)

「アテリア工房」誕生～！

以前からRさんが部長となり、活動してきたアトリ工房。Rさんが久しぶりにぼはっくへ来ると、新しい顔ぶれが増えたこともあり、「改めてアトリ工房をスタートさせたい！」と言。

「せっかく始めるなら、今までと同じ名前じゃなく、新しい名前を考えよう！」「アトリ工房って何をやる部だっけ？」「そもそもアトリエってどんな意味？」

新しく増えた仲間も交えて、話し合いが進みました。アトリエのスペルと意味から「アテリア工房」という名前に決定。それぞれが作りたいものを作るゆったりとした部活を目指すそうです。

名前が決まった後は、子ども一人ひとりが部の認定証作り。筆や絵の具など、部の要素を取り入れて認定証ができました。素敵な部活が誕生したね～♪

(もっちゃん)

アテリア工房

アテリア工房の
ロゴも作成！



うほほ〜い ピカリちゃんらび

学校に行かない・行けない子どもについて、けるがメッセージをお届けするコーナー
そしてここでは、彼らを“ピカリちゃん”と呼びますね。
理由はどんな子どももピカリと輝いているから

「不登校」のレッテルを剥がすには

其の1

巻頭ページでも少し紹介しましたが、2022年度のピカリちゃん数が文部科学省から発表されました。小中学生で 299,048 人。前年度から 54,108 人 (22.1%) 増加し過去最多。

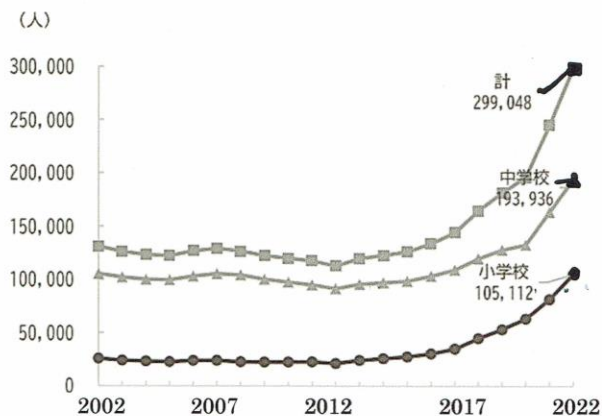
こどばにーが活動する宮城県では、小中学生 6,188 人 (前年より 970 人増加) で、ピカリちゃん率は全国平均 (1,000 人に対して 31.7 人) を上回り、上位 6 番目の 36.3 人でした。

そして、学校以外の機関等で相談・指導を受け、指導要録上出席扱いとなった児童生徒数は、小中学生合わせて 32,623 人。自宅における ICT 等の活用による出席扱いは 10,409 人。合計しても 14.4% ととても少ないことに驚きました。

フリースクールに通う場合、出席扱いになるか否かは校長決済です。ぼはつくでも、学校との信頼関係の度合や、出席扱いになっていても学校長が代われればリセットされるなど、なかなか安定しないのが現状です。

同じフリースクールに通っていても在籍する学校によって待遇が違うのは子どもにとって不安要素でしかありませんよね(;ω;) ヲ...

不登校児童生徒数の推移



2022年度文部科学省「児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」より

もう一つ言えるのは、出席扱いになっても『不登校』のレッテルは貼られたままということ。

フリースクールやホームエデュケーションなどの新たな学びの場(方法)が認められたら、299,048 という数字はもっと減るはずです。

そして子どもは新たな場所での学びを認められたと胸をはって生活できるのに...

ピカリちゃん数を減らす方法は、『教育』の定義を見直すことが大切だと思っまーす。(ける)

石巻市教育長への表敬訪問

教育は子どもを真ん中に考えなければいけないと話す石巻市の宍戸教育長を訪ね、今年度受託が始まった放課後児童クラブとフリースクールの様子などをお話してきました。

◎放課後児童クラブは“福祉”、学校は“教育”だけど、同じ敷地内に教育と福祉が共存することで新たな協働が生まれること。

◎フリースクールについては、石巻市が運営する教育支援センターと連携し、子どもにあった学びの選択肢を増やすことが大切と思っていること。

宍戸教育長は私の話を正面から聞いてくれました。

これらは民間じゃ成しえないことだからね。『子どもを真ん中』にしたら、それを囲む人たちは自然と繋がり、同じ目線で対話ができると思います。

これからが楽しみになってきたな〜♪ (ける)



同じ想いを 人たちとの 津波

渡中学区 WWI

●渡中学区 WWI

WWI は、「わっしょい渡波委員会」の略。
地域の子どもは地域のみんで育てたい。
そして子どもと一緒に地域をつくろう。
そんな思いを持った仲間をつくった会です

地域の思いものせて…夏祭り開催！

震災前は毎年行われていた鹿妻地区の夏祭り。地元の人に愛されていて、お話を聞くと「やぐらを組んで、盆踊り楽しかったなあ」「抽選会があって商品が豪華だったんだぞ～」と楽しい思い出話がたくさん出てきます。しかし、震災から10年以上経った今でも夏祭りは復活していませんでした。津波による資材の流失、地域コミュニティの崩壊、祭りの担い手不足、コロナ…。理由はたくさんあります。



それでも地域の方や子どもたちから出てくるのは「昔はよかった」「夏祭りがやりたい」という言葉。みんなそれぞれ「やりたい」想いを持っている。渡中学区 WWI はそんなそれぞれの想いをつなげ、地域の方々のご協力のもと、鹿妻夏祭りを約10年ぶりに復活・開催いたしました！ (わこう)

準備



地元の町内会や神社、小・中学校にお力添えをいただき、盆踊り用のやぐらや提灯、紅白幕や太鼓など様々な物を借り、当日はテント立てや会場設営などの準備をお手伝いいただきました。

また、イベント用のドッチボールコートを「自分たちはこれが得意なのでやりますよ！」と名乗り出て、自主的につくってくれた中学生の姿に頼もしさや心強さを感じました。

みなさんのご協力なしでは開催できませんでした、ありがとうございます！

子どもイベント・出店

子どもイベントでは事前に子どものやりたいことを聞き、ドッチボール大会とリアルプラトゥーン大会(水鉄砲大会)を行いました！年齢・学校関係なく公園にいるほとんどの子どもが参加し、楽しそうな声が響きました。

また、地元の方に来店いただき、かき氷やフランクフルトなど食べ物から、タイルアートの体験まで全部で6店舗も！「かき氷だけで5~6杯も食べた！」「流しそうめんを何杯も食べておなかいっぱい」と子どももお店を大満喫しておりました～。



盆踊り

子どもと一緒に
盆踊りに参加♪



懐かしい盆踊りが復活！渡波の方に事前に盆踊りを教えてもらったスタッフがお手本となってやぐらの周りをみんなでグルグル。

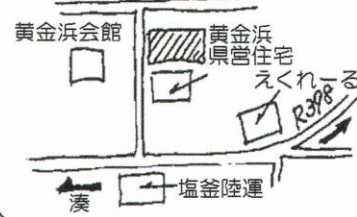
盆踊りが始まる直前に練習会を行うと、数名の子どもが覚えてくれ一緒にお手本になってくれました！

途中から地域の踊りの上手なお母様方が盆踊りの輪に加わってくれ、華麗な踊りを披露。太鼓も地域の叩き手さんが力強いリズムで叩いてくれました。あの場には「笑顔にあふれた地域の輪」ができていました。

プレわたのは

毎週金曜日 15:00~17:00
毎週土・日曜日 10:00~16:00
所在地:石巻市渡波字黄金浜 157

プレーパークの活動の様子は
こちらから
↓↓↓

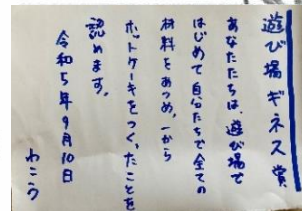


遊び場ギネス賞受賞!

最近のプレわたでは、畑で採れたジャガイモでポテトを揚げたり、ご飯を炊いてチャーハンをつくったりと料理が流行っています。

ある日「今日も料理する!」と男の子たちが食材を持ち寄り、ホットケーキをつくり始めました。「あそび場で今まで材料もーから持ってきてホットケーキを作った子どもっている?」と聞かれ、いないよと答えると「じゃあ初めてだからギネス賞だ!」と盛り上がる子どもたち。

自分たちがプレわたの「初めて」だったことが嬉しかったみたい! ギネス賞の賞状もつくってよ!と言われ、誕生した遊び場ギネス賞。これから、プレわたにどんな「遊び場ギネス賞」が誕生するのが楽しみ!
(わこう)



「壊せる」がいっぱいあるプレーパークに



ある日の開催中、子どもたちから普段はハンモックやモンキーロープを結んでいる柱を「壊していい?」と聞かれました。

「いいよ〜」と答えるとそれぞれトンカチやパールを手に持って真剣に柱を壊し始め、数時間後には柱が真っ二つに折れていました。柱を倒して満足な子どもたちが「すげーな、よく壊れたな、俺たちよく壊せたな」と言っていました。

子どもたちのやり遂げた達成感と自信に満ち溢れた表情を見て、「壊せる」がいっぱいあるプレーパークにしていきたいなと思いました。(かつちゃん)

ピルパグ ひがこ

夏、みんなで水遊び

異常なくらい暑かった今年の夏。

開催した瞬間から「水遊びしたい!」と、待ち遠しくて自分で準備して遊び始める子どもたち。涼をとりながら大はしゃぎで遊んでいました! すべり台の下にシートを敷いてウォーターライダーをつくったり、水鉄砲で攻撃されたら、バケツで水をかけかえしたり。汗と汚れを一気に流すためにわざと自分から水にかかりに行く子どももいました(笑) ひがこにいる全員がもれなくびしょ濡れでとても気持ちよさそう。楽しく遊びながら、最高の熱中症対策になりました!
(わこう)

開催日:水曜日
15:00~17:00



所在地:石巻市鹿妻南 2-7



ほうかご! 児童クラブ

●放課後児童クラブとは
 保護者が就労等により家庭に不在となっている子ども(小1~小6)を対象に、放課後や長期休みに家庭に代わる遊びや生活の場を提供する児童福祉事業で、学校や地域、保護者と連携し家庭の子育てを支援します。

♀ 運営開始から半年が経ちました〜

渡波地区放課後児童クラブの運営を開始して半年が経ちました。

4月初日は、子どももスタッフも「はじめまして」の状態、ほとんどが顔も名前もわからないところからスタートしましたが、大きな事故もなく、子どもたちの活動の幅を広げながら運営することができました。

保護者の方や、学校、市の理解と協力、そしてスタッフの頑張りのおかげだと感じています。みなさま本当にありがとうございます。

今回の会報誌では、児童クラブの1年間の中で一番大変な「夏休み」を終えたので、こどぱにーはどんなことをして、何を大切にしたらかをお伝えします。

♀ 児童クラブの夏休みで大切にしたこと

夏休みは、1日平均 75 名が児童クラブを利用しました。多くの子の利用時間は、8時半~16時半頃までですが、子どもによっては8時~18時までの10時間を児童クラブで過ごしました。

さらに、夏場は熱中症対策で校庭での活動時間は

限定的で室内中心となります。

教室ほどの室内で、毎日子どもが、「安全に楽しめる」場をつくるのは大変でしたが、子どもが「どんな児童クラブであって欲しいか」という想いを大切にしてくれて、新しい試みを実施しました。



子ども会議とアンケートによる子どもの声を聴く

夏休み前に、「夏休みにやりたいこと」について子ども会議を開き、そこででた9つのアイデアを元にアンケートを実施しました。結果をスタッフで検討し「やれるだけやろう」ということで、毎日の水遊びに加え、毎週水曜日を「イベント day」に決めました。

♂ 子どもが決めた5つのイベント

流しそうめん、球技大会、ゲーム大会、リアルスプラトゥーン大会、肝だめしの5つのイベントを実施し、きもだめしは、地域の方にもご協力いただきました。



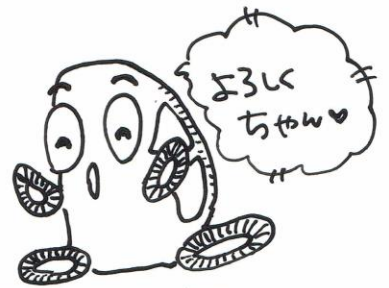
♀ 「やってみる」を大切な場に

イベントすべてに様々なエピソードがあり紹介しきれませんが、子どもたちは楽しい夏休みを過ごせたようです。保護者からも「あそび場感覚で楽しく通ってた」「休みの日でも、児童クラブに行きたい!と言っていた」などの感想をいただきました。

反省点もありますが、「子どもの声」に耳を傾け「やってみるか!」を大切にできる場に近づいたなと感じました。

(なおたろう)

事務局からのお知らせ

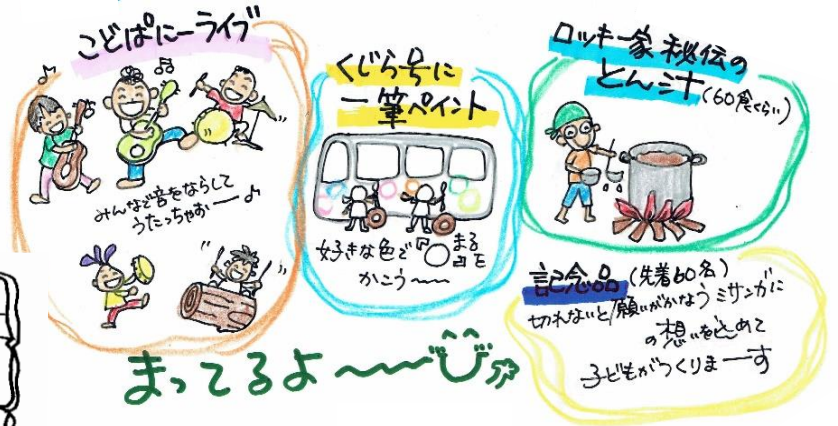


“二代目空飛ぶくじら号”お披露目会

みなさまのご支援・ご協力により、こどばにーに新たな愛車“空飛ぶくじら2号”を迎えることができました。本当にありがとうございます。(詳細はP2をご覧ください)

そこで、新たな愛車をみなさんにご紹介したく、歓迎&お披露目会を開催します！

こどばにーオリジナルバンドによる生歌唱や、“二代目空飛ぶくじら号”へのペインティングなどを企画しています。みなさんと共に記憶に残る楽しい会にしたいと思っていますので、ぜひご参加ください。(みー)



【開催日】2023年10月29日(日)
 【時間】13:00~15:00
 【会場】プレーパークわたのは (宮城県石巻市渡波字黄金浜 157)
 【参加料】無料 【持ちもの】お椀と箸

汚れても良い服装で来てね！みんなで楽しもう♪



2023年度秋祭り開催！

今年はいよいよパワーアップしてやります『秋祭り』！
 昨年は射的屋さんやアクセサリー屋さん、スライムづくり体験屋さんなど、個性豊かな子ども出店がありました。
 それに加え今年は、子どもたちが企画する「子どもイベント」、おふるまいや焚き火で焼き芋など、現在子どもたちと一緒に企画中！どんな企画になるかお楽しみに～！ (わこう)

●昨年度の秋祭り♪ 子ども出店の様子●



【開催日】2023年11月25日(土) 【時間】12:00~15:00
 【会場】プレーパークわたのは (宮城県石巻市渡波字黄金浜 157)
 【参加料】無料



こどばにー通信「だん子むし」発行元



認定NPO法人
こどもへの感ばにー

宮城県石巻市鹿妻南 2-1-7
 Mail: info@codopany.org
 Tel: 070-2436-8517 (事務局)
 HP: <https://codopany.org/>

◎継続サポーターのお願い

こどばにーの活動をみなさまのお力で支えてください。
 サポート金額は月額 300 円から♡
 子どもが第三の大人とつながり、安心して過ごせるセーフティネットの場づくりにご協力ください。
 詳しくはこちら →



◎活動報告の配信

☆こどばにーのこいろいろ (けろの独り言も配信)
 ●Facebook ●Instagram



「いいね」してね♡

